# 附属世田谷小学校の子どもが心がけること　　【高学年用】

◎いつでも、どこでも、誰とでも、にこやかに過ごせる、温かな学校になるように

## １．皆さんひとりひとりが心がけること

◆「ほかの人にいやな思いをさせないようにして生活をつくります」
　そのために Home でも、Class でも、Lab. でも、次の行動や気持ちを大切にしていきます
・ほかの人に温かなまなざしを向ける
・それぞれを尊重し、みんなが生かされるようにする
・だれもおいてきぼりにせず、困っている人には寄りそう気持ち

◆「きらいな人とも同じ場所で過ごさなければいけない」と考えるのではありません
リスペクトやいたわりの気持ちを持って「相手を認め受け入れる」のが目標です
「きらいな人」ではなくて、「自分とは違う考えを持つ人」と捉え、認め受け入れます

◆「いやなことや自分では解決できないことがあったら、大人に伝えて力を借ります」
大人に相談した人を「チクった」と責める人がいれば、そのことも大人は指導・対応します
安心して、大人に相談してください
「相手に知られるのが不安」という気持ちがあれば、それも伝えてください

## ２．ぜったいにしてはいけないこと

◆「人権や尊厳をないがしろにすること、人が心からいやだと感じるようなことはしません」
「人権や尊厳をないがしろにする」とは、たとえば次のようなことです。
①人がいやがる呼び方、ふさわしくない呼び方で呼ぶ
②人がいやがる噂を流し合う、人の秘密を言いふらす（好きな人、進学のことなど）
③人の格付け、ランキングづけをする（１軍２軍、陽キャ陰キャ呼び）
④人を傷つける乱暴な言葉(ネット上で使われるような言葉など)
⑤暴言、いじって笑う、マウントをとる、けなす、馬鹿にする（容姿や家庭のことも）
⑥うそを言う（事実でないことを適当に言う）
⑦人をたたく、なぐる、ける、足を引っかける
❽人が悪いからと腹いせ・しかえしをする　人のせいにして責める
❾人をあおる、人のトラブルを面白がって見る・口出す、人のことに首突っ込んで口を出す
❿指摘を受けてもやめないで続ける

◆「面白いからやった、ふざけてやった、はいけません」
「大勢で一緒になってやるのは、なお、いけません」

◆「たとえば、相手が悪いから、自分勝手なことをする子だから、言っても聞いてくれない
　から、やられたから、といっても、次のようなことは許されません」
・皆でいやがらせをする　　・無視をする　・その子の物を隠す　　・しかえしする

**３．わかったら次にすること**

①やらない覚悟(強い気持ち)が必要

よくないと知っているだけではいけません

②わかっていてもやってしまう理由にも、自分の思いを向けてみる

弱い自分のことも認められるように

③気づいたら、報告・相談をする

こうしたことを見かけたり聞いたりしたら、必ず先生たちに教えてください

**◎１．～３．これをみんなで実行すれば、誰かがいじめで悩むこともなくなるはずです**

**※ 先生たち大人がしていること**

・それぞれの子どもを、多くの先生の目で見守っています

・「してはいけないこと」をしているという情報があったら、繰り返し注意喚起をします

・誰かがいやな思いをしていないか、情報を共有したり相談したりします

・誰かが困っているとわかったら、その状態がなくなるよう、必ず相談し対応します

関わる人たちから話を聞き、それぞれの思いも聞きます

どんな経緯で何があったのかを考えます

解決のために、関わる人たちそれぞれが何に気をつけていけばいいかを伝えます

・「してしまう人」が、自分の弱さも分かってその自分に自信が持てるように応援します